

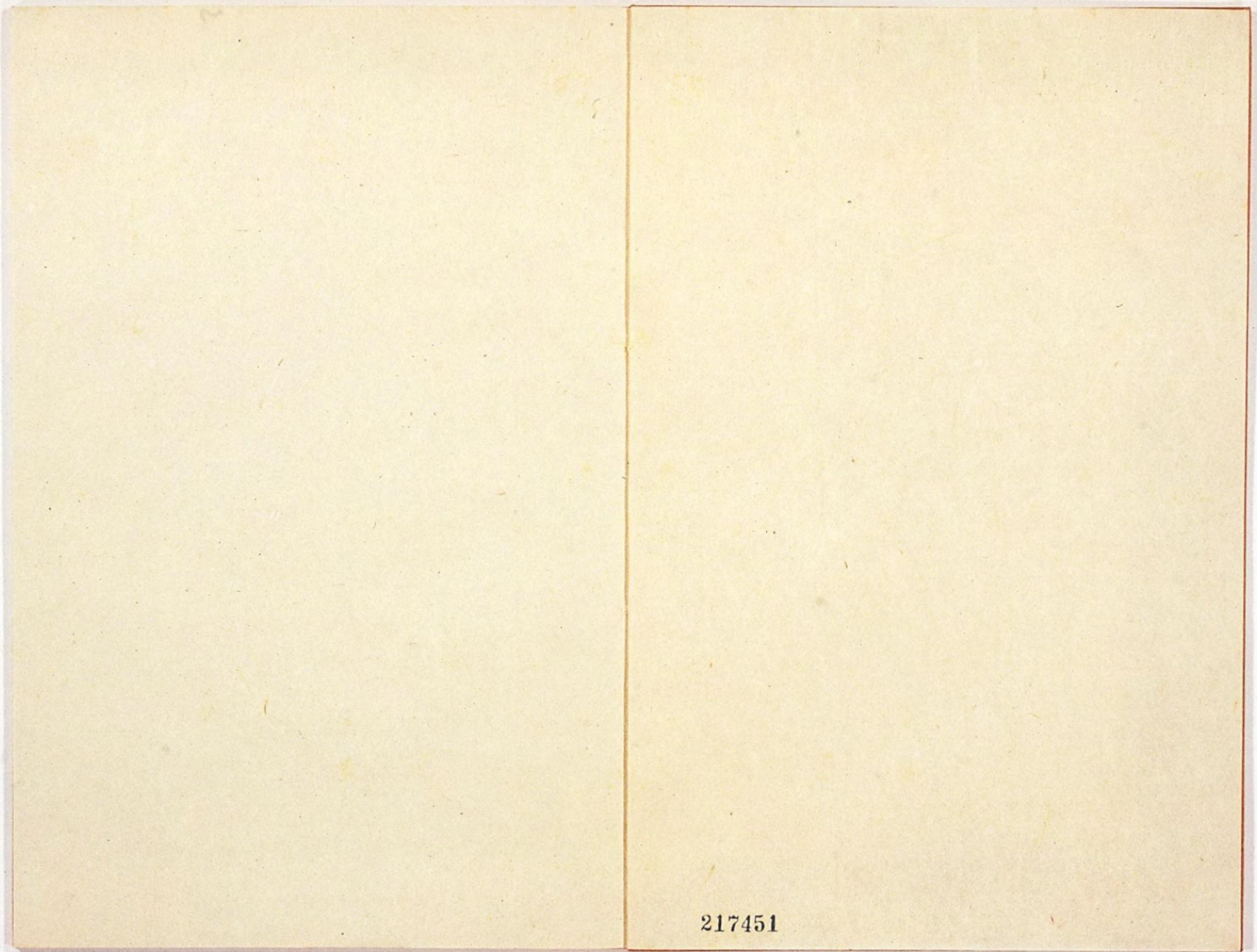
伊藤首相ノ施政方針談話要旨

伊東
344

国立国会図書館

伊藤首相ノ施政方針談話要旨 伊東巳代治文書344

35 - 001



217451



国立国会図書館

伊藤首相ノ施政方針談話要旨 伊東巳代治文書344

35 - 002

第二

●首相の令旨

昨我伊藤首相、各大臣を自邸に招待し、自中幸
 の法治を以て、其の要ありて、~~其の要ありて~~、
 向くに凡る主権あり、於て内閣の政務を施行
 するに、~~其の要ありて~~、~~其の要ありて~~、
 固より論を待たざる所なり、~~其の要ありて~~、
 却りて、~~其の要ありて~~、~~其の要ありて~~、
 備の文、~~其の要ありて~~、~~其の要ありて~~、
 殆ど、~~其の要ありて~~、~~其の要ありて~~、
 其の法を、~~其の要ありて~~、~~其の要ありて~~、
 國家の法



衰興を固く守ることを假令に、此を一致の政
成と爲す能はざるも、必ずや其多岐の政成を
爲さざる可からざる。往りて多岐の政成の言はるるを
空するに多岐の唯、感懐は極く、議論を立て、
此方の政成と云つて一概に之に及ぶ事なるの傾
ありたりとも、或は其智を失ひ、例之彼の
遼東還附に當り、内外の形勢に於て、定に不
已なるに、憚りて、其任海を明らるる如き、是れ
なり。

伊藤

五

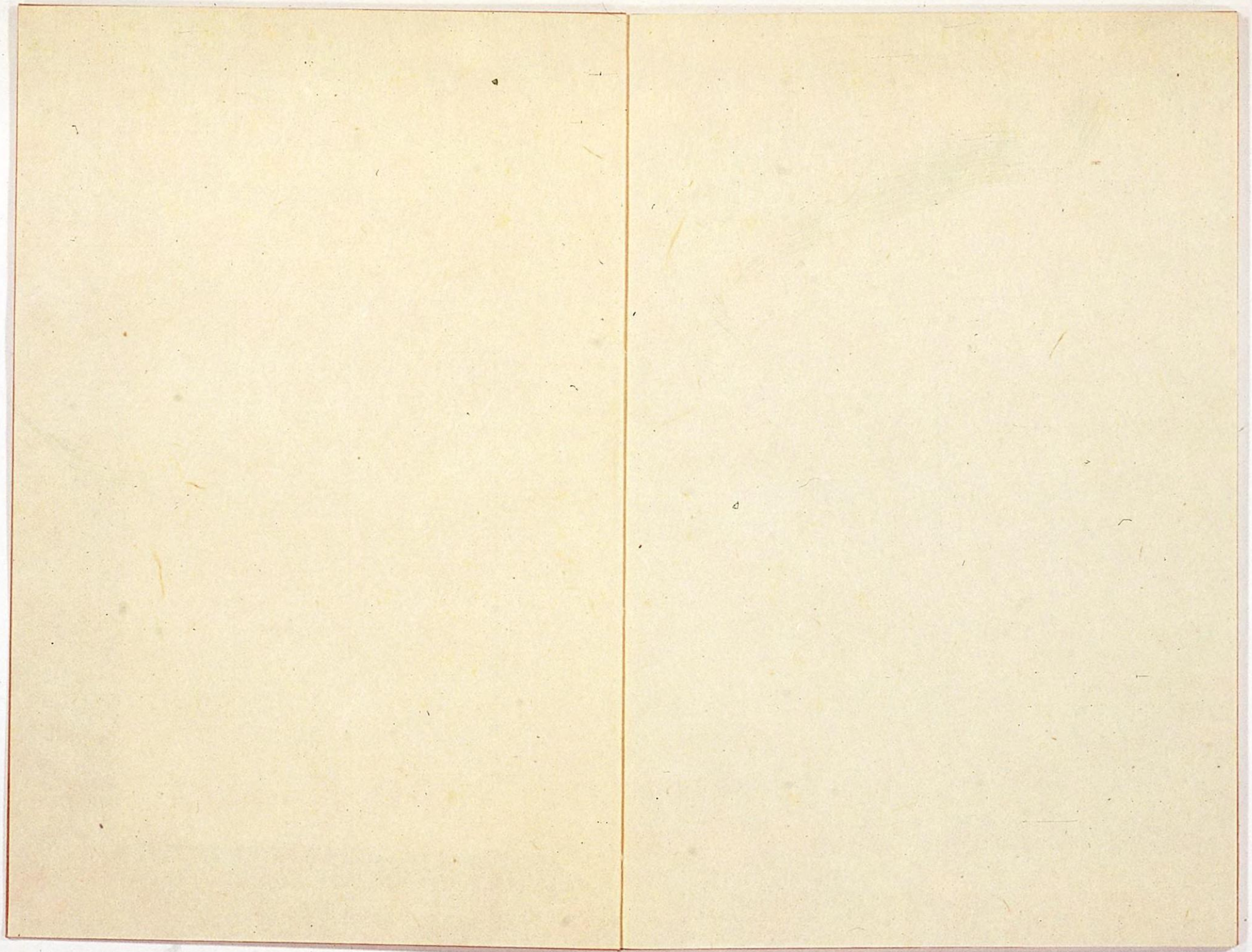
主權の聖意を發揚し、断つて非主權の事を排
除し、主權的化を完成するところなり。方今世
界形勢の變り、獨り東洋の平和を保つに、就
經濟の策を畫するところなり。海軍を強め、
將士を隆げ、兵備を整ふるところなり。
航海の通商、強民農工、其定業の益を、
達し、力を足らすところなり。可憐、格別、定業
聖意の爲めに、國家の政機を、加ふるもの
其、外は、を、一、こと、也。國庫の、よ、出
と、抑、好、し、元、費、を、者、き、不、け、と、立、ち、と、り、有、事。
僅、不、還、附、の、事、に、關、し、憚、り、多、岐、を、生、じ、不、可

乙



たう玆内閣と自由黨と相提掇するかぬめい文
海軍に在りし事と云われしと思ふるも、果して然らば
玆内閣に改めざるの必要を認め自ら也を提
携して内外に對する施政の方針を一貫し此より
一歩を進め、政黨内閣の端緒を固く盡く立
當る以ての基礎を築き固くしむるに在らん云々

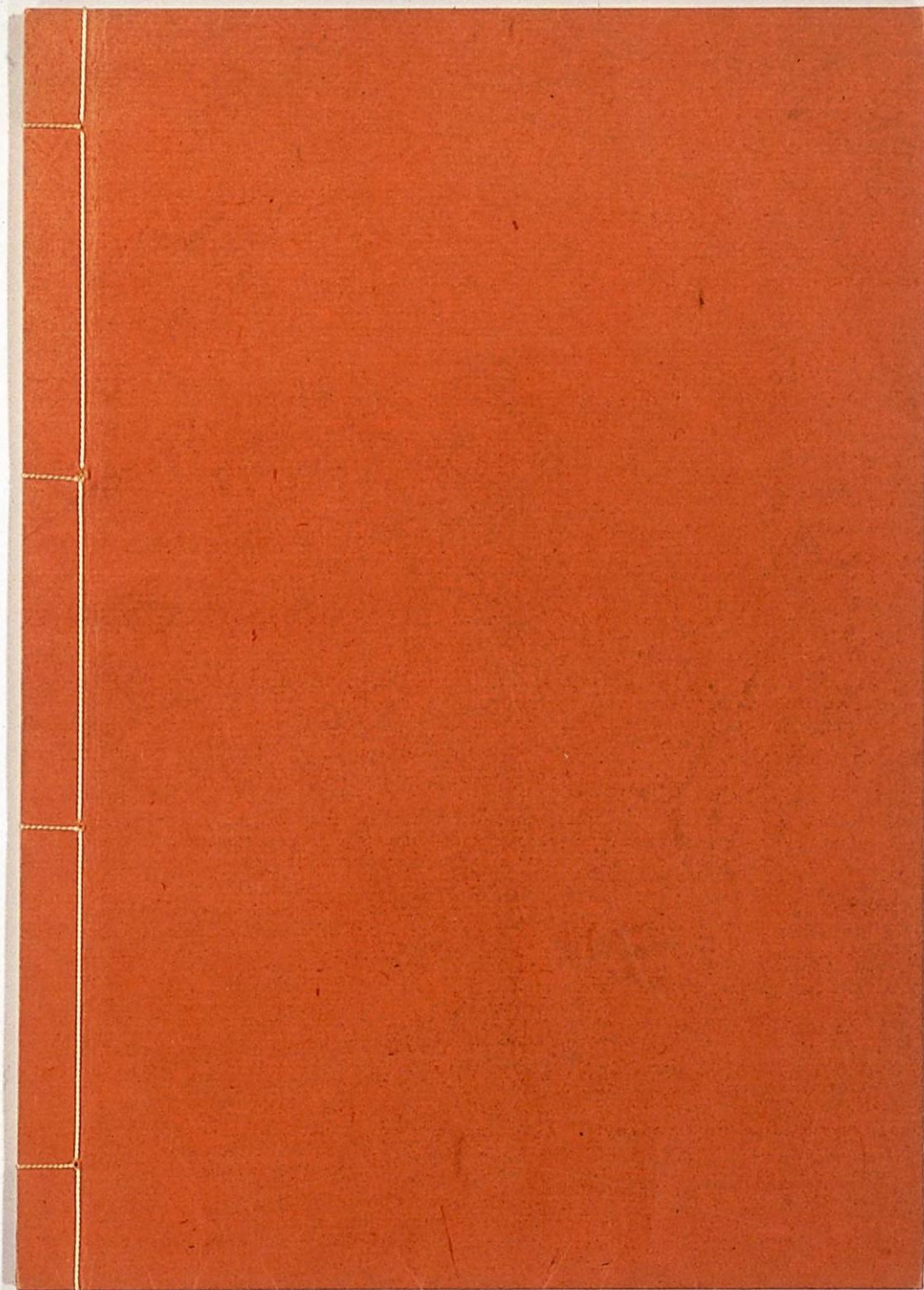
(明治)



国立国会図書館

伊藤首相ノ施政方針談話要旨 伊東巳代治文書344

35 - 007



国立国会図書館

伊藤首相ノ施政方針談話要旨 伊東巳代治文書344

35 - 008